

日時 平成28年2月18日(木)
午後7時30分から9時00分
場所 泉の広場公民館

質問1

「KPI(重要業績評価指標)の設定根拠、条件」について

【質問者】

説明の中で、王寺町総合戦略案の目標値が出ていますが、設定の根拠について難しいと思いますが、共通している視点などがあれば教えてください。

【総務部長】

総務部長の中野でございます。それぞれのKPIについては、項目ごとに色々事情があります。王寺町として、今抱えている問題の中で数値を上げたくても、現実的に維持することすら難しい数値もあります。また、色々な社会現象の中で県等が目指している数値もあります。それぞれの数値について、具体的に達成を目指すため、できるだけわかりやすい形でみなさまにお示ししたいということで項目の設定並びに数値の根拠立てをさせていただきました。こちらに設けた5年後の目標については、わかりやすくきちんと現れてくる数値を県や王寺町の現状を踏まえ、そして今後力を入れて取り組んでいきたいという姿勢の中で項目ごとに数値を設けています。全てが一つの条件で設けているというわけではございませんが、そのような中で数値を設定させていただいたとご理解いただければと思います。

質問2

「平成29年度特養の進め方・バスカードの上限金額設定・人口減(若者)に対する具体的施策」について

【質問者】

一つは、平成29年度までに特別養護老人ホームを開設するというお話でしたが、町としてどのような形で取り組んでいかれ、どのような形にしようとしているのか教えていただきたいです。

もう一つは意見ですが、イコカカードについて、70%くらいの方が利用されているとおっしゃっていましたが、バスカードについては使用が無制限であり、また年齢などについても色々問題があったかと思います。バスカードもイコカカードと同じように使用金額を設定されてはいかがでしょうか。平等性

に欠けると思いますが、いかがでしょうか。

もう一つ、人口減少について若者はみんな外に出ていきます。先日も報道されていましたが、奈良県でも、4,800人が県外に転出しているということでした。もちろん県内に入ってくる方もおられますが、全国の6ヶ所くらいのところに人が集中しているとお聞きしています。王寺町として具体的にどういったことをすればよいか聞かせていただきたいです。この総合戦略がありますが、たくさんあって理解しにくいです。町として、一番良いというものがあればお聞かせ願いたいと思います。

【住民福祉部参事】

住民福祉部参事の山岡と申します。特別養護老人ホームについては、予定としましては現在応募を受け付けており、5団体から応募を受けております。今年度中にプロポーザルでプレゼンテーションを行い、県に上申する法人を決定する予定です。県の応募の締め切りが例年のスケジュールでは5月末となっておりますので、そのあいだに上申させていただきます。また、応募を締め切った後、5月から秋までの間に県の方も調査等を行い、概ね10月から11月に最終的に選定結果が出るという流れで、なんとか選定を得たいと考えております。

【住民福祉部長】

住民福祉部長の浅井でございます。2つ目のご質問のイコカカードについて、町としては外出支援という形で取り組みを進めさせていただいております。バスカードにつきましても上限額を設定してはどうかというご質問でしたが、外出支援を検討する中で、バスカードやイコカカードまたタクシーの運賃補助も含めて、どのような方向が一番望ましいのか色々と検討させていただき、上限設定することも視野に入れた形で奈良交通と協議を進めさせていただきました。上限設定する場合は、バスに乗っているシステムの改修が必要であるということで、改修するにあたっては3,000万円強の金額が発生するという形で回答をいただいております。現状の形で継続させていただきながら、今後どういう形が望ましいかということも含めて、引き続き研究や検討を重ねていきたいと考えております。

【町長】

補完的に説明をさせていただきます。特別養護老人ホームを整備するには、県の許可が必要です。そういった意味から先ほどスケジュールの回答をさせていただきましたが、今までの流れを見ると県の許可の数が少なくなっています。このような場合は郡山から生駒郡、北葛など西和圏域で見られるのですが、だいた

い3年間で王寺を含む西和圏域で、年平均1ないし2くらいとかなり許可の数が絞られていました。しかし、今の政府の方針で介護離職をゼロにするということになり、補助の枠がかなり増やされるものだと期待しています。今まで圏域で1ないし2しか許可がおりなかったものが、もう少し増やしてもらえらるであろうと想定しています。その中で、王寺が西和圏域の中で唯一、特別養護老人ホームや介護老人保健施設がないということを強く県に主張させていただき、秋には1ヶ所の許可をいただきたいと思っております。手を挙げたから100%採択されるという保障はありませんが、できるだけ町の実情を話す中で許可をいただけるように一生懸命申請していきたいと思っております。許可をいただければ、そこから着手し平成29年度末には50床の特別養護老人ホームを整備できるのではないかと考えています。場所は提案の中身によりますので、まだわかりません。王寺町は7平方キロメートルと非常に狭い区域ですので、どの場所にあっても車で15分走れば到達できると思います。そこは他の地域よりも近いところでの開設が見込まれると期待しています。

また外出支援については、色々と議論をさせていただきました。最初は本人確認ができないのでイコカを廃止するなど、色々と検討してきました。ただし実情を無視できないし、できるだけ色々なツールで外に出てほしいという想いもあります。話が少しそれますが、色々な統計のなかで、お年寄りが1ヶ月間で身内ではない他人と話す日が1日か2日しかなければ、高い確率で認知症になるという実態があります。外に出ていただくのと太陽を浴びて健康対策にもなります。やはり色々な意味で外出していただきたいと思っております。外で色々な方とお話ししていただき、刺激を受けながら健康づくりしていただくのが一番健康寿命を伸ばすのに良いという統計が出ていますので、外に出て歩いてもらう動機づけをしたいと思っております。バスについては、先ほども部長から説明があったように、使用金額の上限を設けると改修が必要になりますので、そこに3,000万円を使うことが適当であるか議論が必要です。バスについては色々なご意見がありますが、1回100円の実費をいただき乗っていただくので実質は2分の1弱の負担をしていただいております。ただしイコカにつきましては、一時金は必要ないため仕組みが違うと考えています。イコカは現金と同じように5,000円までは使っていただけますが、バスについては1回乗るたびに100円払っていただきますので、それが抑止効果になっているのではないかと考えています。無料のときには、30万円以上使われていた例もありましたが、直近の平均では、バスの場合は王寺の税金からは一人あたり、9,500円となっているのが実態です。20,000円分使われている方もいれば、1,000円や2,000円の方もおられ、平均で9,500円ということです。バスの上限を設け3,000万円のシステム改修をするのか、利用料の幅

はあるが必要に応じて100円払っていただき利用していただくのかどちらが妥当であるか議論する中で、バスカードについては、100円払っていただき乗っていただくものであり、イコカカードについては、キャッシュレスで使える5,000円だということで、その差をご理解いただけるのではないかと思っています。

【総務部長】

人口減少の問題についてご質問いただきましたが、先ほどからご説明させていただいておりますとおり、このまま人口推移をしていくと、何もしなければかなりの度合で人口が減っていくと推計されています。その中で、人口20,000人規模を最終目標として維持していきたいということです。王寺町の特異性から考えた場合に、転入・転出による社会増減の影響は小さいとされています。しかし、これにつきましても当然、近隣市町村も社会増をなんとか増やそうと努力をされますし、王寺町もその努力を怠るわけにはいかないと認識しています。またそれとは逆に、王寺町の合計特殊出生率は国・県と比較すると、低いということが現状としてございます。お母さん方が子どもを産み育てやすい環境づくりをさせていただきたいと思っておりますが、何か一つのことに取り組みば的確に数字として反映されるものではないと思います。やはり、できる限り色々な方面からの手法を打つ中で、人口を維持し、なんとか減少を食い止める方向での施策を、現在ご提案させていただいております。先ほど申しましたKPIという目標をもって一つひとつ達成していけば、なんとか20,000人を維持できるのではないかと考えておりますので、ご理解いただければと思います。

質問3

「カーブミラー点検などを地域住民から情報収集（スマホの写真）などを活用したシステム・町行事（イベント）を一目でわかる方法（HPなどの検討）」について

【質問者】

2点だけ方法論として提案させていただきたいと思います。総合戦略の11頁に町内全域のカーブミラーの一斉点検とありますが、期間が経過すると適正に機能しているかどうかわからない状況になるかと思えます。また点検も簡単にできるものではないので、地域の方から情報を王寺町に提供してもらってはいかがでしょうか。例えば、ここのカーブミラーが見えにくいなど、今は携帯電話のカメラも非常に発達していますので、写真を撮って送るだけで、コメン

トも付けなくても町で把握できるというものがあればよいと思います。東京かどこかでやっていたと思いますので、情報収集するソフトを考えていただきたいということが一つです。

もう一つは16頁になりますが、今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合を100%にしたいということが挙げられています。私どもは自治会で行事を企画するとき、町や小学校の行事がどうなっているかなど色々と確認しながら考えます。その時に王寺町のホームページを開けたりしますが、小学校は小学校で別のページにリンクしなければなりません。自治会を運営していく上で、行事を企画するとき、町や小学校の行事などイベント一覧がひとつのところで見られるものをホームページの中に設けていただければ、皆さんが参加しやすい日にちの設定ができると思います。またクラブなどもあるので、どうしても100%は無理な値だと思いますが、少なくとも企画する側が100%に近くなるような行事ができるような仕組みを検討してほしいと思います。

【地域整備部長】

地域整備部長の井関と申します。一つ目のカーブミラーの一斉点検及び補修についてですが、道路関係施設の安全、安心な施設管理また維持補修という観点から、町内にあるカーブミラーを一斉に点検させていただき、その結果に基づいて必要な補修と維持管理に努めていきたいと考え、取組事項として挙げさせていただいております。また、これまでの管理につきましては、まずは担当職員が町内へ出る機会に、道路パトロールとしてカーブミラーも含めて交通安全施設の点検を行い、必要な補修を行っております。また各自治会のみなさまにお願いし、自治会より、状態の悪いカーブミラーの状況をご報告いただき、その都度点検をしながら補修しているのが現状であります。提案いただいた情報システムについては、より安全で安心な施設管理ができる形を研究させていただきたいと思います。

【総務部長】

色んなご提案をいただきましたが、広報と広聴は本当に大事な部分だと認識しております。ホームページも刷新させていただきましたが、今お聞きした内容は本当に貴重なご意見だと思い聞かせていただきました。確かに行事や役場で抱えている事業は多岐にわたっており、それをみなさまに上手く見ていただけるよう整理する必要があると思います。その中でも必要な情報をできる限り絞りながら、できるだけ前向きに進めさせていただきたいと感じました。今後とも引き続きご意見をいただき、改善、工夫をさせていただきたいと思います。

質問4

「出生率を上げるには結婚出合いの場の創出（男性の「結婚始め講座」など必要）」について

【質問者】

先ほどから出生率を上げるとおっしゃっていますが、そのためにはまず結婚してもらわなければならないと思います。町長ともお話をさせていただいたのですが、まずは結婚していただくための出合いの場が必要だと思います。それについて、総合戦略ではどこに書いてあるのかを探すと、13頁のたった2行でした。これをもっと力強く推進してほしいと思います。私は子育て中のパパが交流する場を文化福祉センターで月に1度開催しています。その参加者でもかわいい奥さんがいる人がいるので、どこで出会ったか聞いてみると、まちの商工会が開催している婚活だということでした。彼は上牧町出身で、奥さんは王寺の人ということで話が盛り上がり結婚に至ったということです。婚活に参加した理由は、公が開催しているので安心して参加できたということでした。ぜひ町が支援するだけでなく、主催するぐらいの気持ちでやっていただいてもよいのではないかと思います。私たちの年代は結婚しないといけないという感じでしたが、今の若い人はなかなか結婚しないので、子どもが結婚しなくて悩んでいる親も多いと思います。そして、もし知っていたらうちの子どもも行かせたのにとというご意見をたくさん耳にするので、ぜひ広報を強くしてほしいと思います。

最後に、私からの個人的なお願いと言いますか提案があります。以前、親同士で語る子どもの婚活というイベントを企画し、開催しており、たくさんの参加をいただいております。私ぐらいの年代の親がたくさん来るのですが、親同士はあっという間に話が盛り上がり、子ども同士を会わせようとなります。しかし、会わせても、会わせても、話がまとまりませんでした。そのとき感じたのが、男の人がふがいなさすぎるということです。女の方は割と情報もよく知っていて、どこがおいしいお店だとか、どこかへ遊びに行こうとなるのですが、男の方は情報も知らないし、だらしないと感じました。花嫁修業というものがありますが、花婿修行といいますか花婿学校が必要ではないかと思うくらいでした。「大和の古都はじめ」という講座をやっておられますが、その前に「結婚始め」という講座を開催していただいてはどうでしょうか。どこもやっていないと思いますので、王寺町が独自で行い、若い人を集め、そこでまた出合いがあれば、こんなによいことはないと思うのですが、みなさまいかがでしょうか。

【総務部長】

2行ではありますが、しっかりと思いは込めさせていただいているつもりです。王寺町内だけで限られた人に情報を発信するのではなく、色々なところに情報発信することで、王寺町に来ていただいた方と王寺町の方が知り合っていたら、そして王寺町に住んでいただくということにつながると思います。総合戦略にも書かせていただいておりますが、広域的な取り組みとして、枠を広げて取り組んで行きたいと思っております。

質問5

「農業関連施策がない」について

【質問者】

この総合戦略の中で農業について一つも出てこないことが非常にさびしいと思いました。町の税金の中でも固定資産税などかなりの割合を占めていると思います。土地についても、多くの場合が有効利用できる可能性があります。農業について一つも書かれていないということは、どういうことでしょうか。農業といっても、勝ち組農業は難しいにしても、福祉農業は健康や農地の維持、また環境へ非常にプラスになると思います。ぜひ、そちらも深めていただきたいと思っております。

【町長】

私のところも1反半くらいの農地がありますが、私を含め担い手がいないので、実は近くの方に委託してやっております。産業としての農業は、王寺町にとっては条件的に無理です。しかし、おっしゃったように農業の健康や環境などの公益的機能については注目されていることであり、それをどのように王寺町の中で具体化するかだと思います。例えば、市民農園的な手法をきめ細かく取り入れるなど、地域をきめ細かく見ていって是非取り組む必要があると思っております。

この総合戦略は王寺町の産業をどのように振興していき、税収をどう高めるかを主に検討しております。やはり税収の大半はサラリーマン層であり、住民税が大部分を占めています。先ほどお話ししたように、その方々がだんだんと高齢化で退職されることで、住民税も落ちてきます。そうすると次の税収確保をどうするのかを考えなければなりません。農業で税収を確保することはなかなか難しいと思われ。よほどハウスなど特異なケースで、健康農業で可能性があるとなると力を入れる必要がありますが、残念ながらそういった環境にありません。農業の必要性は十分認識しつつも、今後の町税のことを考え、

どのような産業を主とするべきかという視点でこの総合戦略はまとめております。農業が触れられていないというご指摘はその通りでございますが、そのような視点でつくっているという点をご理解いただきたいと思っております。

質問6

「雇用（障害者）施策を」について

【質問者】

初めてタウンミーティングに参加しましたが、発言させていただきます。

農業の話がされましたが、雇用という部分では、障害者もおられます。障害をお持ちの方というのは、農業などで土を触るのが好きな方が多いと思いますので、そのような観点から見てもらいたいと思います。実は私も砂栽培で障害者の就労支援をしています。台の上で野菜を育てていますので、車いすの方々でも栽培できるという提案をしながら、また、大学や繊維メーカーと協力して研究事業をやりながら、野菜を育てて、スーパーなどに卸す企業に勤めています。雇用という部分を考えて、王寺町は色々な使えるところがあると日々考えています。奈良県は企業誘致がまったくうまくいっていないと思いますが、ホテル誘致について総合戦略に出ていましたのでとても楽しみだと思っており、色々な知恵も出てくると思っています。障害者の方も給料をもらえることが一番うれしいと思いますし、障害者の方の将来もかかっていますので、そういったことを考えながら施策を実現していただければと思っております。生意気なことを言いましたが、お願い申し上げます。

【町長】

ご指摘されたことはよくわかります。障害者の方が働きやすい場所で雇用を確保することが大事だということはおっしゃるとおりだと思います。おっしゃったように遊休農地を転用できればよいと思いますが、そういった想いを持った企業を誘致できるかどうかという課題がひとつあります。場所を提供できても、やっていただく方がいなければなかなか前に進みません。それは県の障害福祉課などで、色々な情報を集積していますので、また聞いてみたいと思います。ただ我々ができることから始めようということで、王寺町内の福祉作業所のポエムと色々検討させていただいております。リーベる5階のスペースについては、民間のカフェは採算がとれないということで来ていただけませんでした。しかしそういったことだけでなく、王寺町のシンボリックなあの場所を雇用の場として、障害者の方に社会性を身につけていただき、さらに所得を得ていただくモデルケースとして、行政も協力をさせていただきながら雪丸カフェが

エムを運営しています。きめ細かく色んなご意見を聞きながら運営していますので、これもひとつのモデルケースだと思います。こういった取組をさらに広げられるように、またおっしゃったように町内で農業を活用した障害者の雇用も条件が合えば、当然話をつないでいきたいと思っております。努力したいと思います。

質問 7

「社協活動の充実（ボランティアセンターを含む）」について

【質問者】

社会福祉協議会がありますが、他のまちと比較すると、まだまだ充実する必要があるのではないかと思っております。町長からも前向きに取り組んでおられると聞いておりますし、また議員の方も熱心に質疑に取り組んでいただいていると思います。しかし各町にあるボランティアセンターでは王寺町より小さなまちでも、効果的に取り組んでおられますが、王寺町はまだそこまで至っていない状況だと思います。また社会福祉協議会の活動も併せて推進していただければと思っております。

またソーシャルワーカーは現在王寺町に何名おられるのでしょうか。

【住民福祉部参事】

住民福祉部参事の山岡と申します。社会福祉協議会の活動についてですが、ボランティアセンターはご指摘のとおり現在は表立っておらず、ボランティア団体等の把握に努めて業務しているところでございます。

2つめのソーシャルワーカーについてですが、社会福祉協議会にはソーシャルワーカーの有資格者は今はおりません。しかし役場では、社会福祉士の職員を4名配置しております。

質問 8

「計画策定に住民の意見（自治会単位などで意見を聴く）の反映」について

【質問者】

先ほど、目標値については町の方から、それなりの観点で設定しているというお話がありました。なぜそのことを言うのかというと、この戦略を推進していくのは、基本的には町のみなさまかもしれませんが、ファンダメンタルは住民だと思います。住民の支持と協力と、願いを実現するという夢があると思います。さらに全体の戦略のことで、町長は産業と税収の観点からお話いただき、

確かにわかりやすいことだと思います。最初に話があったように、国の地方創生の施策のなかでのことだと思いますので、それを大いに活用して、資金を取ってくることは賛成です。しかし内なるものがなければ絵に描いた餅になると思います。20数年前に久度再開発のときに住民側がまちづくりシンポジウムを開き、商いをしている商店の方やそれを利用する住民や、障害者の方も参加されていました。そこでは、どういったデザインをするのかという話と、基本的にそこに生きて働き、そこで生涯を終えていく住民の支持や願いがなければできないという話になりました。往々にして、日本の行政は仕方ないかもしれませんが、国がしているからするといったことが多いと思います。税金の問題などもあるかもしれませんが。国の資金も大いに活用すべきだと思いますが、やはり住民の支持や願い、あるいは夢を実現することが必要だと思います。また外部だけに期待しても仕方ないと思っています。タウンミーティングはあと2回ありますが、小学校単位や自治会単位など何らかの形で意見を吸い上げるなり、意見交換するなりをしていただきたいと思います。そうでなければ久度の再開発のときも、再開発について国の税制の法律が出たりして、結局できましたが北にある商店街などは問題が残っていると思います。そこから何を教訓にするのかは、これからの知恵だと思います。もう少し少数にして、意見を取り上げてほしいと思います。

【町長】

地方創生で5年間の計画を挙げると、事業単位で10分の10の交付金がつかれます。全ての事業に交付金が付くとは限りませんが、この5年の間にできるだけ色々な場면을想定し、計画に盛り込むことで少しでも財源確保をしたいと考えております。総合戦略には詳しくは記載しておりませんが、久度の北地区は木造を含めてまだ住宅が密集しており、一筋縄ではいかない状況です。国の区画整理や様々な手法をもって変えていかなければなりません。前にも住民のみなさまに参加していただいたまちづくり協議会などを積み重ねることで、合意を得ていくという手法しかないと思っています。5年間でまず何を優先していくかという中で、北の方であれば中央公民館という空間がありますが、まず5年間で優先的にすべきことについて色々な調査も実施しております。そういった箇所や場面について、手法も検討しながら進めたいと考えています。5年、10年後を見越して取り組まなければならないものと、国の財源を得て5年でまず取り組まなければならないものの仕分けを、まず間違いのないように進めていきたいと思っています。後でしまったということのないように、事項の見極めをしながら手法を変えながら積み重ねていきたいと思っています。

【進行】

予定した時刻を越えておりますので、最後におひとかたご質問をご希望の方がおられましたら挙手をお願いします。

いらっしゃらないようですが、本日ご意見をいただけなかった方も、パブリックコメントによりご意見を募集いたします。3月4日発行のかわら版おうじ、王寺町ホームページでお知らせしますので、よろしく願いいたします。以上をもちまして、本日のタウンミーティングを閉じさせていただきたいと思えます。それでは閉会にあたり、平井町長から本日お集まりいただきましたみなさまへのお礼も含めまして、ご挨拶を申し上げます。

【町長】

時間もありませんので、少しだけお話させていただきます。

明日、明後日も時間は限られておりますが、タウンミーティングを予定させていただいております。先ほどもお話させていただいたとおり、色々な手法でもってご意見をお寄せいただければ幸いです。限られた時間の中で、不十分であったかもしれませんが、私どもはできるだけ広報だけでなく広聴にも力をいれたいと思っております。私のところにもメールや手紙をいただくことがあります。できることとできないこと両方ありますが、できるだけみなさまにお返しできるように、職員一同頑張っているところでございます。またご意見をいただくことをお願いして、本日のお礼に代えさせていただきたいと思えます。本日は誠にありがとうございました。